



かえでゆうびん 8月号

2019年8月1日
社会福祉法人 清松学園
幼保連携認定こども園 かえで保育園
園長 引地 美津代

シーシーシー…と今年はかえでの園庭でも元気な声が聞こえてきます。蝉が大好きな子供たちは居ても立っても居られないほどです。桂の木やイチゴの木にとまり、一生懸命鳴いている蝉をそ〜と近づいてつかまえる時のドキドキさは大人になった今でもわくわくする楽しい時間です。

そして蝉を捕まえるとたちまちヒーローに！

かえで保育園にはいま、鈴虫・カエル・カブトムシ・モズク蟹が元気に育っています。

カブトムシの体は小さいですが初めて保育園でふ化したカブトムシです。今、ひかり組の子供たちがやっと「生き物係」を自分で意識してお世話できるようになってきました。近隣の八川さんのおじいちゃんにたくさんいただいた後、かえで保育園でも何匹か孵化し、その前からお願いしていた大学からもたくさんいただき、どの鈴虫も育つと300匹ぐらいになりそうです。

お家で一度飼育してみたい。鈴虫の声を楽しみたいと思われる方は入れ物をもって事務所までお声をかけていただければお分けいたします。



さて7月13日に京都の龍谷大学において「面白さのデザイン」をテーマにかえで保育園の取り組みの様子を発表してきました。発表を控え少し緊張していた席で「先生」と声をかけてくれた方がいました。振り返ると開園前からかえでを設立するのにも進んできた先生でした。驚いたのがありますが、その場所にかえで保育園から自分探しをするために進んでいった先生でしたので再会できたこと、

声をかけてくれたことに胸が熱くなりました。

かえで保育園が開園して9年。子どもたちの表現する心や自分のやりたいことを見つけ遊びこむことのできる環境を作りたいと計画していました。開園当初、様々な園から来られた子供たちの表現力や遊ぶが弱くてどう進めていこうか職員と何度も何度も話し合い進め、また話し合い・・なかなかうまく運ばず悩んだこともありました。泥んこプールで田植えのできる土づくりをしたり、牛乳パックを割いて紙すきをしたり。当初こいのぼりがなくて布でこいのぼり



を作ったり・手探りの保育でしたが、今でも

鮮明に記憶がよみがえります。私は今の保育ができていいるのは以前にいて保育を進めてきてくれた全職員がいるからこそ成り立ち、その先生たちが進めてくれてい たからこそ今があることに感謝してほしいと職員に良く語ります。園庭の植物も少しずつ大きくなり、今では日陰を作ってくれていますが、木々もここで過ごす人達皆が成長してきています。そんなこともめて今の子供たちの成長ぶりを聞いてもらえたことがとてもうれしくそして感謝できた一日でした。また、再開できることを楽しみにしたいと思っています。

8月からは幼児クラスの保育は異年齢のはま・かぜのグループでの生活が中心となります。

3歳から5歳児までを混合にしたグループで過ごします。河本を筆頭に林奈・松岡・木下が4人で夏遊びを計画し、今後も継続した取り組みを進めていきます。どうぞお楽しみに！

ダンディ・タイム：かえでカフェの予定

次回は9月28日(土) 13:30~15:00 かえでカフェのフラダンス
14:00~ ダンディ・タイムのよる園庭整備・ピザ窯設置
15:30~ かえでカフェ・ダンディタイムの集い
皆でお庭で楽しめます。 多数ご参加ください

にこにこメッセージ

今年は昨年のような猛暑はないものかと思っていましたが、梅雨明けと同時に暑い暑い夏の日を迎えました。園内では汗をかきながら、暑さとうまく向き合う方法を日々考えています。お知らせしていますが、かえで保育園では午前中、熱中症対策で水分補給は、ひやりん（常温）、塩分は一口サイズのチーズを食べています。朝食べるチーズはあまり好きでない子も特別なものと感じるようでおいしく食べています。

昨年から暑さ指数（環境省熱中症予防情報）なども参考にしながら、外遊びも工夫し、暑い夏を健康・快適に過ごせるように考えていきます。

かえでゆうびんに毎月、保護者の方からのメッセージを頂いていますが、毎月楽しみにしています。ありがとうございます。お名前を見て「あ、これ〇〇さんからのメッセージ？」と思いながら、読むことを楽しみにしています。2回目以降になると名前を見るだけでどなたかわかるようになってきました。

メッセージに込められた思いを私なりに想像し毎回ワクワクしています。

お忙しい中、みなさまにご協力頂けることに感謝しています。

主幹教諭 藤森 寿美

小学生は夏休みになり、保育園にお手伝いに来てくれています。

久しぶりに会う子どもたちの笑顔を見ていると、保育園とはまた異なる環境で元気に過ごしている姿に逞しさを感じる今日この頃です。そして今保育園で毎日過ごしている子どもたちも、新しい世界に踏み出していくのだということを改めて気づかされます。

今年の3月頃に、子どもたちと一緒に読みたい、伝えたい、と思い購入した本があります。『おかあさんはね』温かく深い愛情が、目には見えないけれどいつもすぐそばにあるよ、いつだってあなたの味方だよ、というメッセージが自然と伝わってくるような絵本です。卒園する直前に読んだ子もいれば、小学生になってから園に帰ってきて「先生、あの本よんで」と膝の上に座り一緒に読んだ子もいました。その子一人ひとりの背景や成長の過程を思い返しながらか読んでいると、ふと涙がこみあげてくることもありました。

そして今では、いぶきさん・ひかりさんのお昼寝のお供になっています。お母さんの想いが少しでも届きますように、そして保育園にいる時にも沢山の愛情を感じられますように、と願いを込めて読み顔をあげると、すやすやとかわいい寝顔が…。

子どもたちが大きくなりこの本を読んだ時に、愛情を注いでくれた人のことを思い出せるような子ども時代を過ごして欲しい、と願っています。

河本 彩奈

先日、参議院議員選挙がありましたね。恥ずかしながら今年初めて選挙というものに行きました。投票所に行くと不思議と緊張して「どの町にお住まいですか？」という質問に自分の住所を思い出すことができないという慌てぶり。そんなこんなで投票が終わると出口で家族連れの方が入ってきて、私も昔家族で投票所に行ったことを思い出しました。

親が紙に書く様子を後ろから覗き込んだり、いつもの小学校が変わっていることにワクワクしたりしていたな、と懐かしい気持ちになりました。それと同時に、投票所に行くだけでも子どもが社会の一員として参加していることに気がきました。あの時連れて行ってもらったことで社会の一部を感じ取り、学びが生まれていたのだとしたら、保育の中でも子どもが参加する機会を大人が積極的に作っていかねばならないと思いました。水遊びが気持ちいい季節になり、毎日泥んこ遊びや泡遊びを楽しむ中で、やりたいと思った時に参加する機会を準備しておきたいと思います。そして私も一緒に汗をかきながら楽しみたいです。

乳児リーダー 谷角 早紀

【 今月の先生コーナー 】

梅雨も明けて本格的に暑い夏がやってきたなと感じる季節になりましたね。

私が夏を感じることの1つに高校野球があります。幼い頃、夏休みに祖父母宅に行くとき必ず甲子園球場に家族で見に行っていました。社会人になった今でも春夏、球場に足を運び観戦することを楽しみにしています。年上だった高校球児もいつの間にか歳を超えてしまいましたが、不思議といつまでも『年上のお兄さん』と感じてしまいます。

高校球児たちが憧れの地で仲間と共に戦う姿はいつ見てもワクワクが止まりません。

点数が入り喜ぶアルプスの様子、悔しくて涙する球児の姿等、地域関係なく自然と両者共に応援をしたくなってしまう。9回裏2アウトになっても最後まで何があるかわからない逆転劇は、高校野球ならではの感じます。

子どもたちとも何年か後に夢中になれることが見つけることができるよう日々の過ごしを友だちと共に経験していきたいと感じました。“最後まであきらめない気持ち”を大切に過ごしていけるようこれからも関わっていきたいと思います。

日笠 加菜

～めばえぐみ～

ねらい：「自分の興味のもったものに触れてみる」

う た：「こぶたぬきつねこ、キラキラ星、ポウズ」

少しずつ抱っこから自分の足で好きな場所へ向かえるようになってきました。保育園の環境にもずいぶん慣れ、保育者が傍で見守っていれば一人で夢中になって遊んでいます。人を認識できるようになると人見知りも少しずつ出てきていますが、私たち保育者が安心できる存在であるよう子どもたちの傍に寄り添い、毎日の生活を過ごしていけたらと思います。

～いいものみつけた！～

お部屋に新しく設置した壁面玩具、「かえでのうえん」。子ども達はさっそく興味津々で駆け寄ると野菜の収穫を楽しんでいます。

最近では自分のお気に入りの野菜も出てきたようで、毎日のように手に握りしめているお友だちも…。

また、みんなで一緒に遊ぶ中で「どうぞ～」というように友だちや先生に手渡してくれる姿も見られています。好きな遊びや玩具を見つける中で子どもたちの楽しそうな表情や笑顔もたくさん見られていますよ。



～わ！！きもちいいね～

少しずつ暑い日も増えてきた7月。幼児さんの水遊びや泥遊びに入れてもらい、めばえさんも全身で泥遊びや水遊びを楽しみました。

初めての大きな泥の水たまりにびっくりする子、勢いよく中に入っていく子、と様々な反応が見られましたが最後には全員が体中泥だらけになるほど夢中になっていましたよ。

その数日後には絵の具遊びも楽しみました。タライに張った色水に手をパシャパシャとつけながら水の気持ちよさと紙に色がたくさんついていく楽しさを感じているようでした。これからプール遊びや水遊びもたくさん行っていきます。みんなで夏ならではの遊びを充実させ、楽しんでいきたいです。



“担任の思い”

梅雨に入り、雨の日も多くなった7月ですが子どもたちは室内でもたくさん身体を動かし、元気いっぱい過ごしています。ハイハイしていたお友だちもあっという間につかまり立ち、そして歩行することが出来るようになり、興味のもったものに自分からどんどん向かっている毎日です。保育園に来て様々な物に興味を持ち、そして出来ることもたくさん増えてきました。そんな子どもたちの姿に「いつのまに！！」と私たち自身が驚かされています。これからも子どもたちの成長を見守りながら、保護者の方にもできるだけ様子をお伝えし、共有していけたらと思います。

高田 奈沙・立田 瑛怜菜・植木 雅

ねらい：「水遊びを楽しもう」

う た：「おばけなんてないさ」「むすんでひらいて」 わらべうた：「オッタコオッタコ」

雨の次の日の園庭は子ども達の絶好の遊び場がいっぱいです。水たまりが出来ていたり、泥団子作りにぴったりの砂が出来ていたり…。そんな日に園庭に出ると「きゃー！」と興奮気味で水たまりに飛び込んでいきます。水たまりに更に水を足して泥んこ風呂に入ってみたり、土を握って泥だんごを作ってみたり、それぞれのやり方で泥に触れて遊んでいました。

“泥んこあそび”

園庭にあるどんなに小さな水たまりも見つけてしまう子ども達。スコップを持って来て掘ってみたり、どんどん水を足して大きな水たまりにしてみたり、手も足も泥んこになってもそんなのお構いなしに遊んでいます。タライを園庭の真ん中に置いてあげると「お風呂だよー」と言いながら狭い中に友達と



一緒に入って嬉しそうです。泥んこになるのは少し苦手だなという子も、泥だんごを作ってみたり、コップやじょうろを持ってきて水を運ぶ役をやってみたり、「もってきたよー」と子ども達の中で自然と役割が分担されているような姿も見られます。



“あめあめ ふれふれ♪”



7月になっても雨の日が多かったので、先日、雨が降っていた日には部屋の中でながーい紙テープを使って遊んでみました。保育者が持っている紙テープを引っ張ってみたり、長いものをちぎってみたり、最終的には紙テープに埋もれてとっても嬉しそうでした。終わった後に模造紙に張ったり、傘の中に入れて部屋の中に飾っていると、「あ！きょう、したね」とすぐに気付いてくれます。

傘に興味津々だったので、次は傘を使って絵の具遊びもしてみました。不安定なところにペタペタするのでどうなるのかなと思っていたのですが、指でやってみたり道具を使ってポンポン叩いてみたり…「きれいだね」の声も聞こえてきてオリジナルの傘がたくさん出来ました。バットに絵の具を入れて置いておくと、自分たちで絵の具をつけに行くようになり、出来ることがどんどん増えてきています。廊下にも飾ってあるので、ぜひ見てみてくださいね。



“担任の思い”

毎日の生活の流れも理解していて、自分で出来ることもどんどん増えてきました。自分で出来たという自信が次もやってみようという気持ちに繋がっていけるように、側で見守りながら、子どもたちの気持ちの背中を後押しするように援助をしていきたいと思います。

また、水に触れて遊ぶ機会もどんどん増えていきます。たくさん体を動かして遊んだ後は、十分に水分補強もしながら夏を感じて過ごしていきたいと思います。

～つぼみぐみ～

ねらい：「プールや水遊びから初夏を楽しむ」

う た：「うみ・いぬのおまわりさん・おおなみなみ」

園庭では朝顔の花から色水遊びをしたり、セミの鳴き声から夏を感じることができる季節になりました。先月から続いているしゃぼん玉遊びから固形石鹸を削って泡づくりや洗濯ごっこ楽しんでいます。友だちが遊ぶ姿を見て「一緒にしよう」と手を繋いで誘ったり「次は何する？」と一緒に遊びを見つけようとするこも増えてきました。プール遊びも本格的に始まります。夏ならではの遊びから子どもたちが関わる様子も大切に見守っていきたいです。

～ペアのお兄ちゃん、お姉ちゃん～

七夕祭りでは、ひかり組のお兄さんお姉さんとペアになりお店や盆踊りを楽しみました。七夕まつり前日、ペアの発表をする為につぼみ組、ひかり組で集まりました。ペアのお兄さんお姉さんを見ると嬉しさも



あり、少し恥ずかしそうにしている子もいました。七夕祭り当日は「どこに行きたい？」と目を合わせて優しく尋ねてくれるひかりさん。始めは少し緊張した様子でしたが、お店を回るうちに手を繋いだり、笑顔も増えてきました。



この日から園庭や室内でペアのお兄さんお姉さんに会うと「〇〇ちゃんのお兄ちゃん！」と嬉しそうに駆け寄る姿も見られます。これからペアでも様々な経験をしていきたいと考え中です。



～『やさいのおなか』どんなお腹？～

きゅうりの栽培を始めてから、水やりをしながら葉っぱに触れたり、花を観察したりと野菜に興味が出てきました。部屋に置いている『やさいのおなか』の絵本は何度も繰り返し読んでいます。

「これな～んだ」「にんじんでした」「ご飯に出てくるかな？」と献立に出てくる野菜を考える姿も見られます。

みんなで育てた野菜を食べることで美味しさや野菜への興味がより深まるきっかけになるよう、野菜への気づきや発見を子どもたちと見つけていきたいと思います。



“担任の思い”

七夕祭りでのペアの様子を見ながら感じたことは、お兄さんお姉さんが遊ぶ様子を見て同じ玩具を出して真似をしてみたり、後を追いかけて、そっと遊ぶ様子を見たりと年上のお兄さんお姉さんへの興味や憧れが出てきたようです。また、泡遊びや色水遊び等の様々な遊びをとおして“やってみたい”と友だちと遊びを見つけることで会話からのコミュニケーションをとろうとする姿も増えてきました。言葉で気持ちを伝える方法を園で過ごす中で1人1人に伝えていきながら、子ども同士の関わるきっかけづくりをしていきたいと思います。

～いぶきぐみ～

ねらい：「暑さに負けず泥遊び水遊びを楽しもう」「自分で歯みがきをしてみよう」

う た：「うみ」「おばけなんてないさ」

暑くなってきました。室内ではまんだら塗り絵やコマまわし・ままごとをして過ごし、雨上がりの園庭では思い切り水遊びや泥遊びを楽しんでいます。晴れた日の園庭遊び後は帽子を脱ぐと汗で髪がべったり…な子ども達ばかりでしたが、どの子どもとても満足そうな笑みを浮かべていました。最近「ひやりんを飲んでいます」と自分から進んで水分補給する姿も増え、引き続き8月も体調に気を付け過ごしていきたいと思います。



～どんな枝豆があるのかな～

7月、はじめていぶきの子どもたちだけでマックスバリュへ買い物に行く機会がありました。自分たちが育てている枝豆をお店にも探しに訪れた買い物でしたが、間近でその他の色々な野菜を見たり、自分たちでお金の支払いをしたりする経験もできました。店頭では4種類の品種の違う枝豆を購入することができ、自分たちで塩もみ・味比べ

をすることができました。今回は、はまグループの話を聞いて意とも買い物も計画しています。幼さんありますが、子どもたちと一く、気づきや発見を大切に過ごし



はまグループのみでのお買い物でした。欲溢れるかぜグループの子どもたち、児クラスになり初めての経験がたく、緒に一つひとつのドキドキ・わくわくしていきたいと思います。



～楽しみにしていたプール遊び～

7月18日は子どもたちが楽しみにしていたプール開きがありました。前日の持ち物や約束を確認する時から目を輝かせ楽しみにしていたため、当日は「早寝して楽しみにきたよ！」「水着持ってきたよ」と朝一番に教えてくれる子がたくさんいました。慣れない着替えの流れに少し苦戦しながらも、体操が始まると笑顔が溢れ、プールサイドでは真

剣な表情で先生の話聞くことができる動物になりきったり、自分たち触を楽しむことができ、いつも以ています。今後も引き続き、水に大切さにも触れながら、安全にプ努めていきたいと思います。



できていました。水中では、いろいろで水の流れを作ったりして水の感上笑顔溢れる1日になったと感じは常に危険が潜んでいることや水のール遊び・水遊びが楽しめるように

“担任の思い”

7月も子どもたちにとって初めてやドキドキわくわくが溢れる経験がたくさんありました。どんな経験にも心躍らせ、純粋な心で楽しむことができている子どもたちの姿に日々微笑ましさを感じています。その中でクラスの友だちをかけがえのない存在として認識したり、一緒に過ごす中で助け合ったりする姿も増えてきました。年上のお兄さんお姉さんとの関りも子どもたちにとって大きな刺激になっていますが、クラスの友だちとも互いが心落ち着く存在になっていけるように見守っていかれたらと思っています。

木下 明友美

～ひかりぐみ～

ねらい：「水を感じ、友達と遊びを楽しむ」「誰かのために何かをする」

う た：「ホ！ホ！ホ！」「アイスクリームのうた」

暑い日が続き汗ばむ日が続くようになりましたが、プール遊びも始まりました。水遊びや泥遊び、虫捕りと自然を通して季節を楽しむことが増えました。部屋の中から蝉の鳴き声が聞こえると、「セミ探しに行こう」「セミどこにいるかな」とワクワクしながら園庭にでるのを楽しみにしています。虫網を持って元気いっぱいです。8月もたくさんの興味のあることを経験していきたいと思います。

“初めてのペア”



楽しみにしていた七夕まつりは、つぼみ組とペアでお店をまわりました。初めてのペアでドキドキしている子ども達。つぼみ組の子ども達の手をぎゅっと握り、歩いている姿はとても頼もしかったです。中には手を握ることが出来ず、困っている時もありましたが、優しく声を掛けてまた歩き出していました。楽しくゲームなどしていると、ペアの子どもとはぐれてしまうひかり組の子ども達が多くいました。しかし、すぐ探しに行き、見つけるとしっかり手を繋いでいました。

最後までつぼみ組を送り届けた後、みんなの顔を見るとすごく誇らしげでした。七夕まつりの後から何人かは自主的につぼみ組の子どもと遊んだり、お世話をしてくれるようになりました。

“カブトムシの成長”

クラスでのお世話係が始まり、生き物に変化がありました。なんとサナギが立派なカブトムシになりました。一つ一つ虫かごを開ける時、みんなドキドキわくわくでした。カブトムシが出てくると自然と「お～！」という歓声が出てきました。中には、カブトムシかと思ったら、カナブンが出てきて予想外の生き物の誕生に、みんな声が出るほど笑いました。また、まだ幼虫のカブトムシもいました。



カブトムシが大きくなって姿を目の当たりにした子ども達は、より一層お世話係に気合が入りました。その日から、誰かにお世話を任せるのではなく、みんなでお世話を始めました。

時には、餌やりや水やりなど誰がするのか言い合いになる事もありました。しかし、友達同士で話し合い、友達が仲裁に入りながら

「じゃあ今日は〇〇で、明日は〇〇ね」と自分たちで解決する姿が見られます。今では担任よりも子ども達の方が、お世話を忘れず上手にしてくれます。さつまいもも大きく成長しているので、早く食べられるようにならないか子ども達と楽しみにしています。



“担任の思い”

七夕まつりが終わった後も、つぼみ組を気にする姿が見られます。今までいぶき組とだいち組のペアはありましたが、一緒に行動することが少なかったため、つぼみ組とのペアが出来て嬉しそうでした。少し不安に思うところもありましたが、子ども達を見て心配に感じるどころか安心しました。これから、つぼみ組とのペア活動を生活の中でも取り入れていけたらと考えています。

ひかり組の始めの頃は、生き物のお世話を忘れていた子ども達ですが、今では毎日お世話をすることが習慣付いてきました。植物を育てる難しさや食べ物の大切さ、生き物の命の大事さなどを育てていく中で、感じているように思います。子ども達の会話からそのような言葉を聞くと嬉しく感じます。これからお世話係をしていく中で、嬉しいことや悲しいことなど様々なことを子ども達と一緒に感じ、子ども達の成長を見守っていききたいと思います。

松岡 桃花

～だいちぐみ～

ねらい：「夏の遊びを工夫して楽しむ。」「身の回りのことを自分でする。」

う た：「おひさまになりたい」「うみ」

6月にあまり雨が降らなかった分、7月は雨が降ることが多かったですね。大人にとっては憂鬱な雨も、子どもにとっては、いつもと違う園庭で遊ぶことができる絶好のチャンスです。雨合羽を着て園庭を散策したり、雨が降った次の日には嬉しそうに「先生、今日のお外の土はいい感じだね。泥団子づくりやすそう！」と話してくれました。季節が移っていくなかで、その季節だからこそ感じられること、楽しめることを大切に過ごしていきたいです。



“昔の人ってなにしてた？”

姫路城が完成したあとも熊本城や尼崎城など他の城への興味が広がり、城の写真を見比べて違いを探してみたり、実際に行ってきた友達から、どのような場所だったのか聞いてみたりと城への興味も続いていました。

また、姫路城が出来た400年前に生きていた人たちは、いったいどのような生活をしていたの

か、という疑問にも繋がっていきまし実際に見たこともなく、聞いたこともなく、「ぼくたちは何年前に生まれたの？」大人は聞いていて思わず笑ってしまいは真剣に話し合っていました。

そこで白鹿の博物館に行き、資料を貸し生活について調べました。見る物ひとつ



ため、想像することが難しく「昭和でしょ？」など、ますが、だいち組の子ども達

てもらいながら、昔の人のひとつが珍しく、質問も

たくさんしていました。そのなかで子ども達の目に留まったのが、「お茶屋さん」です。園庭でも泥団子づくりを楽しんでいる姿が多く見られていたため、すぐに遊びにつながっていききました。

串だんごから、おはぎ、きなこ餅など、種類が豊富な団子屋さん。ひとつ25円とお手頃価格です。たくさんのお客さんがやってきて毎日、大繁盛です。「いらっしゃいませ～。おいしいお団子はいかがですか～」と元気な声が聞こえてきます。

雨が続いたある日、園庭で盛り上がっていたお茶屋さんごっこができず、保育室の中にもお茶屋さんをつくることにしました。みんなで作った姫路城のすぐそばにお店を作り、アートコーナーでお団子になりそうな素材を探していくことで、毎日新しいメニューが出来上がります。暑い日にはみんなが食べたくなるかき氷も出てきました。

だいち組だけでなく、ひかり、いぶき組、時にはつぼみ組のお友だちにも店番の仕方を教えていて、普段とはまた違った関わりも見られるようになってきました。またぜひお団子を買いに来てくださいね。

“担任の想い”

毎月子ども達の様子を書いていく中で、“高い所にのぼってみたい”という気持ちから、様々な興味・関心に繋がっていると改めて感じる事が出来ました。また4月に比べると、子ども達が主体となって遊ぶことが増えてきたように感じます。大人が想定するよりも子どもが主体となって活動することで、子どもならではの視点や考えに気付かされる事が多くあります。それによって体験したこと、考えたことが、今後の生きていく力となってくれることを願って、自分で考えること、自分の力でやってみることを大切にしていきたいです。

林 奈津美

保護者の方からのおはなしコーナー

先生方の真似が上手な娘。
本を読む前には
「♪読んでもいいですか〜？」と見えない
誰かに声を掛け、
ピアノを弾く時には、先生のように歌いなが
ら弾いている風。
我が家の小さな先生、今度はどんなことを
真似をしていくのか楽しみです。

だいち組 のぞみさん

保育園の写真を自宅で見ていると、
「〇〇ちゃん」、「〇〇くん」、私が
「今日何して遊んだの？」と聞くと
「しゃぼなま」と教えてくれます。
どんどん出来る事や、言葉も話せる
ようになり、成長を感じます。
今でも朝バイバイの時、寂しそうな
表情をすることもあり、たまに私が
泣きそうになります。

ふたば組 ゆうこさん

入園から4ヶ月が経ち、初めの頃は泣いて
いることもありましたが、最近では保育園に
行くことが楽しいようで、朝送り届けると、
一目散に部屋に入っていきます。

めばえ組 ゆうこさん

自由奔放な息子で心配な部分もたくさん
ありますが、息子がやりたい事を尊重して
くれたり、今しか出来ない事を経験させて
くれたり、マイペースな息子に合わせて
くれたりと、先生方に感謝です。
いつになったらもっとシャキッとしてくれ
るのか…と思う日々ですが…(笑)

ひかり組 けいこさん

先日、七夕のお願い事を書く時、
「将来何になりたいの？」と聞くと、
「ママと一緒に仕事する」と。
「ママは何のお仕事してるか知ってる？」と
聞くと「知ってるよ!」と。ちゃんと
理解していた事に驚きました。
20年後、一緒に仕事出来るまで頑張って
働こうと思いました。

いぶき組 ゆきさん



☆お台所から☆

降りしきる蝉の声と、透き通った空の青さに夏の盛りを感じる季節となりました。気温もどんどん上昇し日々の猛暑も続いています。今月もこの時期に味わえる夏の美味しい食材で暑くても食欲のすすむ「昼食」を作り夏を乗り切ってもらいたいと思います。

7月の食育活動では、かぼちゃ・ピーマンの種取り、玉ねぎ・とうもろこしの皮むきなどをしました。ピーマンの種取りでは半分に切ったピーマンから小さな種を一つずつ丁寧に取っていました。一緒に食事をしている時に聞いてみると「ピーマンの種小さかった」「種取るの難しかった」「次もやりたい」と話していました。かぼちゃの種取りでは半分に切ったかぼちゃをスプーンを使って取りました。「種白かったよ」「いっぱい取れたよ」と言って出来上がったかぼちゃと種を嬉しそうに持ってきていました。沢山取れた種は何粒あったか数も数えてくれました。おやつに使うとうもろこしでは、最初は少し難しそうにしていたのですが、慣れてくるとスイスイと剥いてくれて20本ほどあったとうもろこしも、あっという間に仕上げてくれました。「ひげがいっぱいあったよ」「黄色いとうもろこしが見えた時、嬉しかった」と話している子もいました。又、おやつ時には子どもたちの前でホットプレートを使って焼いて焼きとうもろこしにすると「めっちゃいいにおいした」と食べ終わったお皿を持ってきて話している子もいました。その他にも切る前の冬瓜をつぼみ組に見せに行くと「大きいね」「スイカみたい」と話していたり、ズッキーニをみせると「これきゅうりみたい」と話している子もいました。8月も旬の食材を使った食育活動をどんどん進めていきたいと思っています。

※離乳食の展示食を、先月の後半から完了食にしています。ご確認ください。

8月に予定している食育活動

- ・かぼちゃ、ピーマン、冬瓜の種取り
- ・とうもろこしの皮むき
- ・餃子の皮を使ったピザ作り
- ・カレーライス of 具材の皮むき、包丁を使って切ることを予定しています。

8月の献立 旬の食材

きゅうり	トマト	かぼちゃ	万願寺
オクラ	ズッキーニ	冬瓜	デラウェア

<かえで保育園のおすすめレシピです♪>

<ちんすこう>

【材料】

- ・小麦粉 100g
- ・油 40g
- ・砂糖 40g
- ・塩 ひとつまみ

【作り方】

- ①油と砂糖を混ぜ合わせる。
- ②①に小麦粉を入れよく混ぜた後、塩をひとつまみ入れる。
- ③②を4cmほどの楕円状にし、170度のオーブンで15分程焼けば出来上がり。

※お好みで黒ゴマやきなこを入れても美味しいですよ。



ピーマンの種取り



かぼちゃの種取り



とうもろこしの皮むき



- 8月1日～13日まで関西学院大学の学生3名が実習に入ります。
- 19日～30日まで常盤大学の学生4名が実習に入ります。

こんなことしたよ♪

7月12日は七夕まつりがありました。つぼみさんと幼児さんは浴衣や甚平を着て素敵にドレスアップ！ヨーヨー釣りや貝殻アート、魚釣りなど沢山のお店屋さんを異年齢のペアで回りました。また、盆踊りやスペシャルメニューのお昼ご飯もあり、大満足の子どもたちでしたよ。前日、当日共にたくさんのお手伝いありがとうございました。



7月17日はそうめん流しをしました。朝早くからたくさんのダンディタイムのお父さん、おじいちゃんに手伝ってもらい、素敵な竹の流しそうめんが完成しました。お母さんたちにもトッピングや配膳等を手伝っていただき、お腹いっぱいそうめんを食べる事が出来ました。その後にはなんとスイカ割り！「もっと近く！」「そこ！」と楽しい歓声が上がっていました。



★お願い★

- 8月10日(土)～17日(土)は、夏期保育となります。家庭保育の協力をお願い致します。お仕事がお休みの方は暑い夏、子どもたちとゆっくりとお過ごし下さい。
- 幼児パンツの貸し出しはありません。不足の時は買い取りとなります。次月の諸費で請求させていただきます。(1枚250円です)



《8月の予定》

- 9日(金) 西宮市リクルートバスツアー
*学生の方が来園します。
- 26日(月) 月例健診
- 1・8・22・29(木) 体操の先生とプール
*15日はお休みです。
- 21・30(水・金) 絵画